

科目名	ボランティア 1							年度	2026
英語科目名	Volunteer 1							学期	通年
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	山本璃空		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー、メディアクリエイター	

**【科目の目的】**

ボランティア活動（社会貢献・地域貢献）を通してコミュニケーション能力を育み、社会人としての意識を育む。

**【科目の概要】**

八王子および多摩地域で行われるイベントや、教育機関で行われるイベントに運営スタッフとして参加する。

**【到達目標】**

- A. 積極的にボランティアに取り組み、社会に貢献する。
- B. 様々な人々とのコミュニケーションを通じて人間力を高める。
- C. イベント主催者より感謝される。

**【授業の注意点】**

地域社会と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成、ボランティアの観点から、私語や態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	積極的にボランティアに取り組み、1団体に関する社会貢献を経験する		社会貢献について考えることができる		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	1団体に関して、様々な人々とのコミュニケーションを通じて人間力を高める		様々な人々とのコミュニケーションができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	社会人としての思いやりがあり、社会と関わる喜びを得る		社会人としての思いやりがある		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

特になし

**【参考資料】**

特になし

**【成績の評価方法・評価基準】**

評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ボランティア 1			年度	2026
英語表記		Volunteer 1			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	ボランティアの目的を理解する	1 活動の種類と目的	ボランティアの社会的役割と意義を理解する。	3	
			2 自己紹介	参加動機を共有して、他社の思考を理解する。		
			3 活動計画	スケジュールを把握して、見通しを立てる。		
2	ボランティアワーク①	オリエンテーション	1 概要説明	傾聴、質問し、コミュニケーション力を高める。	3	
			2 チーム編成	一緒に行動する仲間について理解する。		
			3 行動計画立案	活動の全体像を理解する。		
3	ボランティアワーク①	事前準備	1 リスク調査	情報収集しリスクを考える。	3	
			2 スケジュール作成	活動日の詳細なスケジュールを理解する。		
			3 ミーティング	それぞれの役割を理解する。		
4	ボランティアワーク①	実践	1 業務打合せ	主催者とのコミュニケーションを学ぶ。	3	
			2 イベント運営	出演者、来場者との関係性を理解する。		
			3 課題の発見	問題・課題を発見し、記録する。		
5	ボランティアワーク①	振り返り	1 反省と課題	実際の活動で感じた問題・課題を共有する。	3	
			2 課題解決案	問題・課題を解決するため仲間と議論する。		
			3 レポート作成	活動を振り返り学びを得た内容を言語化する、		
6	ボランティアワーク②	オリエンテーション	1 概要説明	傾聴、質問し、コミュニケーション力を高める。	3	
			2 チーム編成	一緒に行動する仲間について理解する。		
			3 行動計画立案	活動の全体像を理解する。		
7	ボランティアワーク②	事前準備	1 リスク調査	情報収集しリスクを考える。	3	
			2 スケジュール作成	活動日の詳細なスケジュールを理解する。		
			3 ミーティング	それぞれの役割を理解する。		
8	ボランティアワーク②	実践	1 業務打合せ	主催者とのコミュニケーションを学ぶ。	3	
			2 イベント運営	出演者、来場者との関係性を理解する。		
			3 課題の発見	問題・課題を発見し、記録する。		
9	ボランティアワーク②	振り返り	1 反省と課題	実際の活動で感じた問題・課題を共有する。	3	
			2 課題解決案	問題・課題を解決するため仲間と議論する。		
			3 レポート作成	活動を振り返り学びを得た内容を言語化する、		
10	ボランティアワーク③	オリエンテーション	1 概要説明	傾聴、質問し、コミュニケーション力を高める。	3	
			2 チーム編成	一緒に行動する仲間について理解する。		
			3 行動計画立案	活動の全体像を理解する。		
11	ボランティアワーク③	事前準備	1 リスク調査	情報収集しリスクを考える。	3	
			2 スケジュール作成	活動日の詳細なスケジュールを理解する。		
			3 ミーティング	それぞれの役割を理解する。		
12	ボランティアワーク③	実践	1 業務打合せ	主催者とのコミュニケーションを学ぶ。	3	
			2 イベント運営	出演者、来場者との関係性を理解する。		
			3 課題の発見	問題・課題を発見し、記録する。		
13	ボランティアワーク③	実践	1 課題の共有	活動前に問題・課題を共有して改善策を考える。	3	
			2 報告と提案	主催者に課題の共有と改善の提案を行う。		
			3 客観的評価	終了後に主催者にお礼を述べ、評価をいただく。		
14	ボランティアワーク③	振り返り	1 反省と課題	実際の活動で感じた問題・課題を共有する。	3	
			2 課題解決案	問題・課題を解決するため仲間と議論する。		
			3 レポート作成	活動を振り返り学びを得た内容を言語化する。		
15	振り返り	活動を振り返り、気づきと成長を言語化する	1 活動成果	授業を通して学んだことを発表する。	3	
			2 フィードバック	発表を聞いた他者の意見を傾聴する。		
			3 今後に向けて	授業を通して学んだことを言語化する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等